

2014

小さな自然観察クラブ

第1回目 桜を見に行こう

5月10日に2014年度第1回目の観察クラブを開催しました。今年度は応募人数が多く、クラブ員を小学4年生から6年生までに絞らせてもらいました。来られなかった低学年の子たちの分まで、自然の中でたくさん学び、楽しみましょうね！

最初に館内で開会式。初めて顔を合わせる仲間に緊張している様子でしたが、みんな元気よく自己紹介してくれました。“一番楽しみにしている回”では化石発掘体験が一番人気！他には川釣り体験やランプシェード作り、キャンドル作りが人気でした。



開会式の様子



沢に降りるとヤチブキが

いよいよバスに乗り込んで弥生公園に出発。名寄で一番の桜の名所といわれる場所です。今回は「フィールドビンゴ」を使って春の植物や生き物たちを見つけます。全部見つけれられるかな？到着すると、ほぼ満開のエソヤマザクラが出迎えてくれました。この日は暖かく、私たちの他にも大勢の人が花見に来ていました。



ミズバショウ

ヤチブキ

その後、森の中の遊歩道へ。倒木を乗り越え、急斜面をロープを使って沢に降りるとそこにはエソノリュウキンカ(ヤチブキ)、



野ったばかりのオタマジャクンを発見！

ミズバショウ、サンショウウオとカエルの卵があり、ビンゴは一気に埋まりました。他にも春の花であるカタクリ、エソエンゴサク、エンレイソウがちょうど見ごろ。面白いものではクルミの若芽が羊の顔に見えたり、ヒグマのツメあとがついた木(!)もありました。終わる頃には見つけた春の自然でビンゴはほとんど完成していたようです。最後に満開のエソヤマザクラの前で記念写真を撮りました。



羊に見える？



今回は天気にも恵まれ、たくさんの春の生き物に出会い、春を体全体で感じた観察会になりました。名寄には自然がいっぱい！これからも色々な自然との出会いが待っています。期待しててください！



熊のツメあとにびっくり！

2014

小さな自然観察クラブ

第2回目 親子九度山ハイキング

6月21日に第2回観察クラブ「親子九度山ハイキング」を開催しました。親子行事のため、たくさんの保護者・弟妹が参加し、総勢50名を超えるととてもにぎやかな登山になりました。

ここ2週間ほど雨模様の天気が続いていましたが、この日は曇り空で、時折太陽も顔を見せていました。涼しくて虫も少なく、登山にはちょうど良い天気となりました。



今日登る山は、名寄市を代表する「九度山」。ピヤシリスキー場としてなじみ深いこの山は、昔名寄に住んでいたアイヌの人々にとっても狩猟の時の目印とした大切な山であり、国の名勝「ピリカノカ（アイヌ語で「美しい形」）」にも指定されています。さあ、5合目・山頂目指して出発です！

最初はグレンデ部分を歩き、途中からリフトの下をくぐって木に囲まれた道を歩きます。シラカバやトドマツの間を元気に歩く子どもたち。しかし、九度山はなかなかの急こう配。早くも「疲れたー」の声。しかし後ろを振り向くと下にはジャンプ台が！いつもは見上げる景色を見下ろし、周りの美しい自然に元気をもらいながら登りました。頑張って一步一步進んでいくと一気に視界が広がりました。そこは第3リフトの乗り場、五合目到着です。実はここが名寄の街が一番よく見える場所なのです。その絶景にこれまでの疲れが吹き飛びました。



さあ、ここで下るか登るかの選択です。残された体力と相談し、半数が5合目で下山、半数が山頂を目指すことになりました。5合目に残った子たちはまわりの自然観察をしながらゆっくり下山しました。途中でお花つみをする子やミヤマクワガタを捕まえた子もあり、自分達のペースでたっぷり自然を満喫できました。

山頂を目指す子たちは岩場をもくもくと歩き、頂上の第3リフト降り場に到着。遠くに山が連なる景色を楽しみ、全員無事下山しました。

みんな疲れはしたけれど、親子や友達同士でおしゃべりをしながら楽しく登り、素晴らしい自然や景色も見ることができ、達成感たっぷりの九度山ハイキングでした。

2014

小さな自然観察クラブ

第3回目 川釣り体験

7月12日に第3回観察クラブ「川釣り体験」を開催しました。台風の影響が心配されましたが、時折晴れ間も見える穏やかな天候の下、名寄川での川釣りを楽しむことができました。

魚釣りはクラブ員たちの期待も高く、長い時間釣りを楽しむためにいつもより30分早く集合し、バスで名寄川に向かいました。到着してまずはオオイトドリの茎の中にあるイトドリムシの捕まえ方を学習。これを知っておけば、今度釣りに行ったときは現地でエサを調達できますね！



その後、水の中をジャブジャブ歩いて川の中州にある石河原に到着。ここを拠点として釣りの準備です。仕掛けを釣り竿につけて、釣り針に餌のイクラをさすと準備完了。今日はみんな濡れてもいい靴で来ていますから、膝まで水につかって釣りの開始です！

釣り糸をたらすとすぐに「釣れた！」の声。名寄川の代表的な魚「ウグイ」です。その後もどんどん釣りあげる子どもたち。釣れるのはウグイばかりですが、なかなかの釣果です。みんな夢中になって釣りを楽しみました。

その後は網を使ったガサガサ漁体験。一人が下流で網を持って構え、上流方向から水をバシャバシャさせて魚を網に追い込む方法です。網を上げるとウグイの稚魚やドジョウ



ウがかかっています。他にも水中眼鏡をつかって川の中を観察したり、石を投げて水切りをしたりと、川遊びをしている子どもたちはとても生き生きして見えました。

ウグイ・ドジョウの他にも、きれいな川に生息し最近数が減少しているというカワシンジ



ユガイを見つけたり、逆に数がどんどん増えて生態系を壊してしまう困りものの特定外来生物ウチダザリガニを捕まえたりもしました。カワシンジユガイの棲むきれいな川の部分が残されている半面、人為的に連れてこられたウチダザリガニが繁殖しているこの名寄川。私たちが後世に伝えなければいけない自然の姿、生じている問題点を学ばせてくれる良い機会になりました。

2014

小さな自然観察クラブ

第4回目

化石発掘体験

9月13日に第4回観察クラブ「化石発掘体験」を開催しました。ここ数日、天候不順が続いており、当日も途中で雨が少し降り出しましたが、なんとか最後まで開催することが出来ました。

今回は年に一回のロングラン開催の回で、お弁当持参で午前8時から午後4時まで中川町エコミュージアムセンターに行ってきました。バスで揺れること1時間半。なかなか遠かったけど、化石発掘の期待感とお友達とのおしゃべりで、あまり退屈せずに過ごせたようです。



到着してすぐに化石発掘現場へ移動、車で10分ほどの河原へ。そこで職員から化石が入っている石がどんなものかの説明を受けました。化石は泥岩などの中に入っており、渡されたハンマーで石を割って探すとのこと。この河原はアンモナイトが見つかることも多いそうで、子供たちの期待も高まります。

さあ、発掘開始！手に持ったハンマーであやしい石を次々とたたきますが、中にはなかなか化石が入っていません。そう、化石はそんなに簡単に見つかるものではないのです。しかし、だんだん目が慣れてくると、植物や貝の化石の一部が少し外に見える石が見つかります。それをたたくと、中には化石が！コツがわかると子供達もどんどん化石を見つけっていました。アンモナイトを見つけた子もいたようです。



お昼御飯は天候がすぐれないため、エコミュージアムの食堂を借りました。外での発掘作業で汗をかいた後のお弁当はととても美味しい！早起きして作ってくれた保護者の方、ありが



とうございます！

午後はみんなが採集した化石の余分な部分を取り除くクリーニング作業です。砂袋の上に化石をおいて、たがねとハンマーでけずっていきます。あまり強くやると、せっかくの化石が割れてしまうので慎重に・・・地道な作業です。

作業が終わると、最後に展示室を見学しました。中川町は色々な色・形のアンモナイトや、魚、恐竜、首長竜の化石も見つかっている化石の宝庫。展示しているたくさんの化石に圧倒されました。これらの化石は、太古の時代にもたくさんの生物が暮らしていたとの証です。いつか、クラブ員の中からすごい化石を発掘する子が出たら素敵ですね！

2014

小さな自然観察クラブ

第5回目 親子野外料理

10月11日に第5回観察クラブ「親子野外料理」を開催しました。風が強くて落ち葉が舞い散る中、友達・親子で協力して旬の食材を使った料理に挑戦しました。

今年2度目の親子企画である今回の野外料理、集まったクラブ員とその弟妹、保護者、スタッフ、総勢でなんと60人！メニューは「きのこ汁」「ロースト手羽元」「塩おにぎり」の三点です。

まずは博物館の裏手で焚火の起こし方を学習。シラカバの樹皮「がんぴ」を着火剤にして、組んだ薪に火をつけます。パチパチと上る炎に歓声が上がります。館内では高学年の4名がお米の準備。博物館らしく昔の人が使っていた「一升ます」を使ってお米を計りました。といたお米は「羽釜」に入れてストーブにセット。うまく炊けるでしょうか？



次に食材を切ります。ゴボウやジャガイモをお母さんに教えてもらいながら一生懸命切る子供達。みんな家でもお手伝いしているのか上手でした。切った野菜を鉄鍋に入れて焚火にかけ、きのこを加えて煮えるのを待ちます。ダッチオーブンにはセロリを敷き詰め、塩コショウした手羽元と玉ねぎを投入！これらを上下からの過熱で蒸し焼きにするのです。

出来上がりを待つまで、次回の工作で使う落ち葉を集めました。森の中から帰ってくると・・・お料理はどうなっているかな？ 羽釜の蓋をあけると真っ白いご飯が。大成功！みんなで手に塩をつけておにぎりを握りました。きのこ汁もいにおい。きのこのダシがたっぷり出ているようです。ダッチオーブンも蓋をあけるとこんがり美味しくそうなチキンが！ みんなでお皿に盛りつけて「いただきまーす！」



みんなで外で食べる昼食の美味しいこと！それも自分たちで作った料理ですから格別です！普段きのこをあまり好まない子も「美味しい！」と食べていたようです。デザートにコクワの実と山ブドウを食べ、自然の美味しさに感動！焚火で作った熱々の野外料理は、寒い季節でも体の中をほっこりとあたためてくれました。

2014

小さな自然観察クラブ

第6回目 ばるーんランプシェード作り

11月8日に第6回観察クラブ「ばるーんランプシェード作り」を開催、落ち葉などの自然物を使った工作に挑戦しました。

工作を始める前に、完成した見本に灯りをつけてみました。部屋を暗くしてランプのスイッチを入れると・・・あたたかい灯りが落ち葉のシルエットを浮かび上がらせます。よし、これを目指して製作がんばるゾ！



さあ、工作開始です。まずは風船をふくらませ、それを台座にセット。次にのりに水を加え、ハケで風船に塗りながら、切った障子紙を貼っていきます。紙を貼る作業は、単純ですが面白い！みんな夢中で貼っていきます。貼り方にも個性があって、手で破ってどんどん貼っていく子もいれば、同じ大きさにはさみで切って少しずつ貼っていく子も。

障子紙を貼り終わると、次は落ち葉や押し花を紙の上から貼っていきます。今回の工作で使用する落ち葉の一部は、前回の親子野外料理の時にクラブ員のみんなに採集してもらった落ち葉です。ここでもみんな個性を發揮！大きい葉を豪快に貼る子、押し花やパンコールでかわいく装飾する子、様々で面白いですね。

さあ、素晴らしい作品が次々出来上がりました。でもここで完成ではありません。今日はこのまま持って帰ってお家で吊るし、乾いたら風船の空気を抜いて完成です。

余った時間はドングリを使った工作を行いました。どんぐりに顔を描いたり、ボンドで張り付けたり、みんな自由な発想で作品を作っていました。

最後に作品を持って記念撮影。お家で灯りをともすとどんな風に見えるかな？ 楽しみで



すね！

今回は秋らしく、落ち葉を使った工作作りを楽しみました。次回はクリスマスに向けたキャンドル作り。ランプシェードとキャンドルであたたかな灯りをお部屋にともしましょう！

2014

小さな自然観察クラブ

第7回目 キャンドル作り

12月13日に今年度最後の観察クラブ「キャンドル作り」を開催し、自分だけのオリジナルキャンドル作りに挑戦しました。今回は弟・妹たちも参加OKのため、40人近い大人数に！とてもにぎやかな観察クラブになりました。

さあ、まずはキャンドルの作り方から。最初に使い古しのロウソクをアルミ製のお皿に入れて湯せんで溶かします。すると透明のロウになりました。クレヨンのカッターでけ



ずって、その溶けたロウに加えるときれいな色が付きます。次に芯を割りばしで固定した容器に色のついたロウを流し入れ、雪で冷やして固まるのを待ちます。これを繰り返すといろんな色の層が重なってきれいなオリジナルキャンドルが出来上がるのです。

子どもたちは最初慣れるまでは、とまどいながらおそるおそるやっていましたが、慣れてコツがわかってくると、「溶かして・色をつけて・容器に流す」をスムーズにどんどん出来るようになっていきました。独自のアイデアを加えた素敵なキャンドルがたくさん出来上がりました。

出来上がった自信作のキャンドルを持って記念撮影をパチリ。完成した作品を持って笑顔の子供達。もうすぐやってくるクリスマスの夜が楽しみです。

最後にこれまでの観察クラブでの活動をスライドショーで鑑賞し、一年間の活動を振り返りました。この一年間で自然を見る・聴く・感じる力がぐっと増した子供達。最初に会った時よりずっとたくましくなりました！



今年一年、いろんな場所に行って、いろんな活動をしました。でも名寄にはみんなに見せたい自然がまだまだいっぱいあります。ぜひ来年も参加してくださいね！

